

総合的な学習 4年1組 木ノ下学級 授業日:2025年9月17日 「765防災隊」

中学年分科会の目指す児童像

仲六郷地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて表現する子

研究主題や目指す児童像にせまるための手立て

①実社会で活躍する人や施設との連携

- *六郷出張所（防災出前授業）、防災探検
- *目的意識をもたせるための課題設定

②主体的・協働的な学びの工夫

- *地域の願いに沿った学習過程の構築
- *相手や目的に応じた表現方法の工夫（ポスター、パンフレット、動画作成、新聞、プレゼンテーションなど）

③ワークシートの工夫

- *日々の学習をマネジメントできるようにするための振り返り
- *協働的な学び合いができるための視点の提示、ワークシートの工夫

連携先（授業パートナー）

- ・六郷出張所

【 児童の変容・授業の様子 】

| 質問 | ①家では災害にそなえたものを準備していますか。 | ②災害にそなえて、家族でひなのの仕方など話したことがありますか。 | ③地域などで行われる防災訓練に参加したことがありますか。 |
|-----|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 学習前 | <p>11人 24人 ■はい ■いいえ</p> | <p>21人 14人 ■はい ■いいえ</p> | <p>13人 22人 ■はい ■いいえ</p> |
| 学習後 | <p>30人 5人 ■はい ■いいえ</p> | <p>22人 13人 ■はい ■いいえ</p> | <p>14人 21人 ■はい ■いいえ</p> |

以上のアンケート結果から、どの質問に対しても、「765消防団」の学習をする前に比べて学習をした後では、「はい」と回答した児童の数が増えており、児童の防災意識が高まったことが分かる。特に、質問①の「はい」の回答の割合が高くなったことから、学習したことを生活に生かそうとする姿勢が見られた。つまり、学習を通して、家族や地域のために自分たちができることを考え、すすんで行動しようとする態度を養うことができた。

地域の防災について知る（社会科見学 東京老年エリア・六郷出張所の方の出前授業・防災探検）



いつ災害が起きても大丈夫なように、こんなに備えるものが必要なんだ。

東京で直下型地震が起ると、津波の被害がこんなに出るのか。

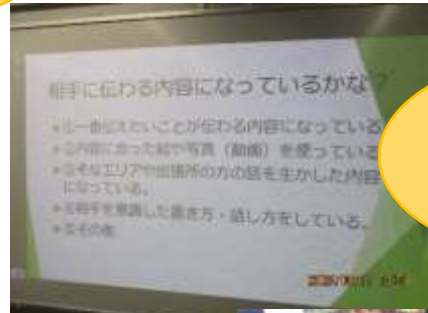
災害が起こるとこんなに大変なんだ。



グループで発信に向けての準備



いいね!



チェックリストを見せる時間を長くすると、聞いている人に分かりやすいと思うよ。

スライドを使って、備えについて家族に発信しよう。



一学期に防災探検や六郷出張所の方の講話を受けて、防災に対する知識が深まりました。社会科見学での学びも合わせて、「自然災害から身を守るために、自分たちができること」を考えることができた!

成果と課題

成果

- ◎地域防災探検や防災出前授業を行ったことで、学習を自分事として捉え、主体的に課題解決していくことができた。また、教師も児童も目的が明確であったため、ぶれることなく一貫した指導を行うことができた。
- ◎昨年度同様、相手や目的に応じて発信内容・発信方法を考えさせたことが、分かりやすい発信へとつながった。昨年度の反省を生かし、グループ発表での視点を内容に絞ったことで、具体的なアドバイスに繋がり、発信に向けて自信をもつことができた。
- ◎ワークシートの活用は、児童の思考を整理しやすくし、話し合いをスムーズに進めるために有効的であった。
- ◎単元の見通しをもち、各自で学習計画を立てたり、進捗を振り返りながら次時の取り組みを決めたりすることで、自己調整学習する力が身に付いてきた。

課題

- 災害に対する知識は、学習を通して深めることができたが、地域防災訓練へ参加する等行動へ繋げることが難しいと感じた。